

広域防災拠点の整備急げ

党愛知県議団

中部管内初の 基幹施設を視察

大規模災害の発生時に
県や自衛隊が指揮を執る
基幹的広域防災拠点の整

備を推進している公明党
愛知県議団(鬼頭英一団
長)は先ごろ、水防拠点
施設として注目される豊
田市内にある矢作川豊田
防災ステーションを視察



水防設備について説明を
受ける愛知県議団のメ
ンバー(左側5人)
▲
し、関係者から話を聞い
た。

同施設は国交省の中部
管内で初めて設置された
もので、水害や地震災害
時に復旧拠点としての役
割を担う。倉庫には木杭
や土のう袋など備品の備
蓄や排水ポンプ車を2台
配備しており、鬼頭団長
らはこうした設備を視
察。この後、鬼頭団長ら
は「今後も県議会として、
国に基幹的広域防災拠点
の整備を要望するととも
に、災害発生時の国と自
治体の連携の強化を図る
取り組みを推進していき
たい」と語った。